

働き方改革与野党応酬

「重要な法案」「捏造の疑い」

与野党幹部は25日、NHKの番組に出演し、厚生労働省の裁量労働制を巡る不適切なデータ比較が問題に

なっている働き方改革関連法案について議論した。

自民党の岸田政調会長

は、「不適切データはあつてはならないことで、（厚

労省に）しっかりと対応を求めていく」としたうえで、「法案の重要性は強く

認識しており、法案を成立させ、日本人の働き方やラ

イフスタイルを大きく変えることにつなげていきたい」と強調した。

公明党の石田政調会長

は、「裁量労働制は多様な働き方ができるということ

ではないが、データ問題は厚労省に説明してもらわな

いといけない」と注文を付けた。

これに対し、野党側は法案の今国会提出を見送ることなどを求めた。立憲民主

党の長妻昭代表代行は、「デ

ータは単なるミスではな

い。比べ方を隠していたわけだ、捏造の疑いがある」と批判した。

希望の党の長島昭久政調

会長は、「肝心のバックデ

ータがいかげんだった。裁量労働制の部分を削除、撤回しなければきちんとした議論はできない」と指摘。

民進党の足立信也政調会長も「裁量労働制をもう一度見直さないといけない」と述べた。